

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

千葉県 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	40	対象	ド透1未訓ガ	救急が感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	116,904	非該当	非該当	7：1

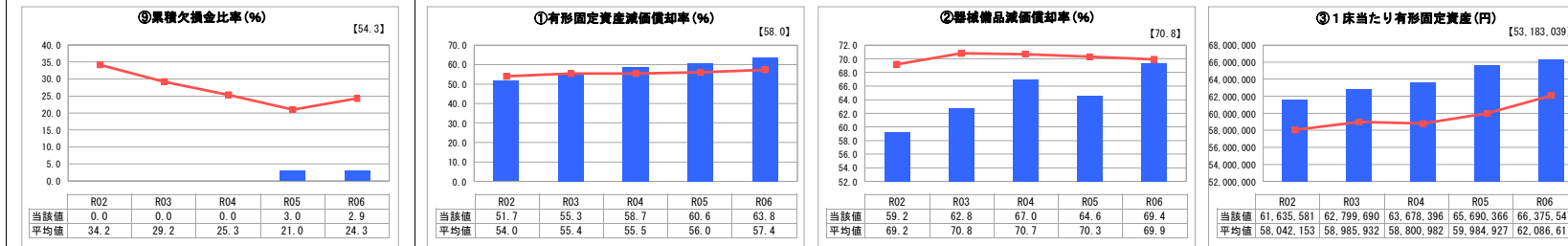
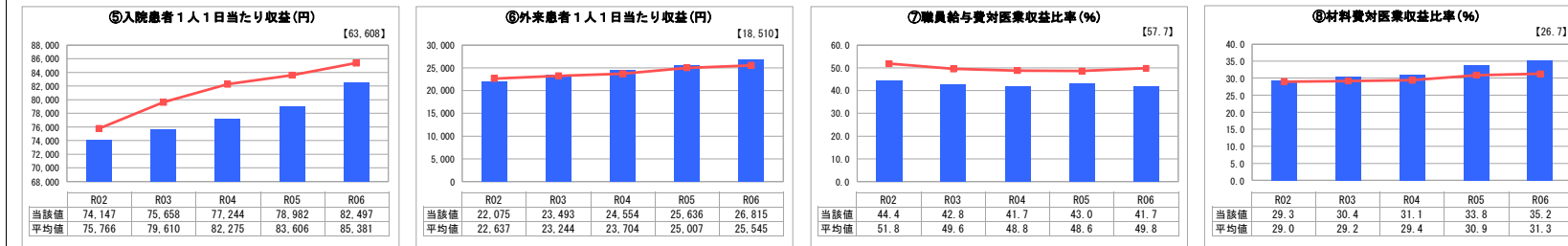
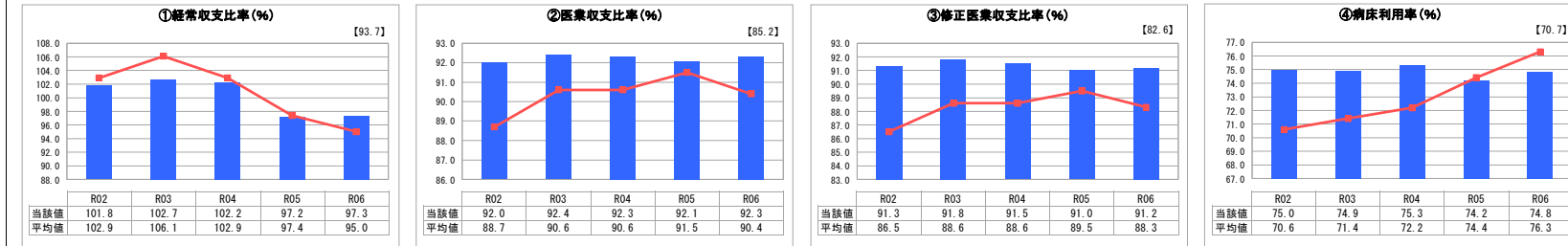
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総合）
763	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
220	6	989
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
713	-	713

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・業務強化 (組織の再編・ネットワーク化等含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	平成28年度	-
-	年度	-

### I 地域において担っている役割

千葉県東部及び茨城県南部を含む半径30キロ圏（人口約90万人）を診療圏とする基幹病院として、高度急性期医療の確保と充実に取り組みつつ、救急・小児・産科・感染症・精神など不採算部門に関わる医療を提供している。  
災害拠点病院としてヘリポート等の必要な設備の維持や災害派遣医療チームの養成等を行っている。  
研修教育病院としての充実に取組んでいるほか、地域医療支援病院として地域医療従事者の研修の場である地域医療支援センターの開設や検査機器の共同利用等の推進を図り、地域医療の進展にも取組んでいる。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、医業収支比率はともに前年度より改善傾向にあり類似病院の平均を上回っている。入院患者数、病床利用率が向上すると同時に入院患者1人1日当たり収益も増額している。  
なお、入院患者1人1日当たり収益が類似病院平均値より下回る理由としては地域における機能分担が十分に進んでいないこと、診療単価の低い精神科が含まれていることが要因である。  
職員給与費対医業収益比率は、類似病院の平均値を大きく下回り、健全性を維持している。  
材料費対医業収益率は、がんの化学療法、循環器疾患の手術などを積極的に実施しており、これらの治療はいずれも材料費が高いものの。

#### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産の大半を占める建物の償却が進んでいるため、減価償却率が上昇しているが、適切な維持管理を実施している。  
器械備品減価償却率も上昇傾向にあるものの、耐用年数を基に計画的な更新を実施している。  
1床当たり有形固定資産は類似平均値を大きく上回っているが、地域医療支援センターの設置、高度急性期医療用の機器備品など中核病院としての機能がその起因となっている。  
施設の維持管理については、既存施設の利活用の検討、計画に基づいた修繕により長寿命化、計画的な更新を実施することで効率的で計画的な施設運営・保守管理に取組んでいる。

### 全体総括

高度急性期、不採算部門など中核的な公立病院として担うべき役割を引続き実施している。  
地方独立行政法人としてのメリットを最大限に活用して、地域が求める医療提供体制の維持に努めるとともに、近隣の医療機関と連携し地域医療全体の維持・発展のため事業に取組んでいる。  
受療意識の変化、人口減少等により患者数がコロナ禍前の数値には戻らず、さらには材料費等費用の増加が経営に大きな影響を及ぼしている。  
今後は、収支改善を図り、良好な経営基盤を再構築すること、働き方改革への適切な対応が課題となる。さらに持続可能な医療提供体制を確保するため、周辺医療機関と連携、機能分化を推進するとともに、将来の人口動態、医療需要に適合するための検討も行う。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。